気軽に楽しめる環境を

総合型地域スポーツクラブ 育成推進フォーラム in 松江

「総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラム in 松江」がこのほど、松江市内のホテルで開かれ、俳優の石丸謙二郎さんが「あなたはターザンになれるか？」と題して講演。「地域スポーツの楽しさ」をテーマにしたパネルディスカッションでは、総合型スポーツクラブの役割や普及の必要性などについて意見交換した。

出席者
●パネリスト
石丸 謙二郎（俳優）
持田 比佐子（NPO法人しんじ湖スポーツクラブクラブマネージャー）
黒須 充（福島大学教授）
●コーディネーター
宮嶋 泰子（テレビ朝日アナウンサー）

総合型地域スポーツクラブの役割や普及の必要性について話し合ったフォーラム＝松江市内のホテル

チャンスを広げる試み　石丸氏
校庭芝生化実現目指す　持田氏
活力ある地域社会形成　黒須氏

全国の現状や課題

宮嶋　国のスポーツ振興基本計画で、二〇一〇年までに各市町村に少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブ（以下総合型クラブ）を設立するという目標が示されている。全国の現状、課題を教えてほしい。

黒須　日本のスポーツシステムは大きな岐路を迎えている。各競技・団体の横のつながり、年代間の縦のつながりが分断され、地域住民が気軽にスポーツを楽しめる環境になっていない。

総合型クラブは、この状況を打破するとともに、地域や社会が抱える問題点を解決する起爆剤に、という趣旨で考えられた。一つのスポーツクラブではなく「総合型」。すべての世代の人々が、それぞれのレベルや興味に応じて、近くの公共施設を使いながら生涯スポーツを楽しむ環境づくりを目指す非営利組織だ。

島根県内では十一市町村に二十四クラブが設立、または設立準備中。順調に増えているものの、スポーツが生活の一部として定着するには身近な日常生活圏である中学校区単位に必要。それが実現すれば、子どもの体力向上をはじめ、高齢者の医療費削減、地域コミュニティーの再生など活力ある地域社会の形成に大きな役割を果たせる。

宮嶋　しんじ湖スポーツクラブの活動内容は。

持田　松江市宍道町は、以前から各スポーツ団体の活動が盛んだった。しかし個々の住民のスポーツへのかかわりは、行政主催の大会や教室に参加する「行政主導型」だった。住民自らの企画・運営を促す目的で〇二年三月に任意団体を設立した。「いかこい、やらこい、たのしまこい」をキャッチフレーズに、誰もがいつでも気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを進めている。

スポーツ少年団にない競技の教室、主婦層のストレス解消を狙った体操教室のほかに、福祉行政と連携して介護予防事業としての「いきいき元気クラブ」など三タイプの健康教室を開いている。

地域のお父さんたちが主体となって、子どもに昔の遊びや自然の中で楽しむ遊びを教える「どよう（土曜）あそび塾」もある。

住民から「こんな教室はどうか」という提案も増えた。住民の声を取り入れた活動を通じ、地域との連携、行政との協働というクラブの基盤ができたと思う。

石丸　親の世代は柔道や剣道、相撲など格技の時代。わたしの時代はバレーやサッカー、野球など球技の時代だった。格技は力が強い者、球技は運動神経が良い者が選手になる。では力が強くなく、運動神経が良くないと、スポーツは楽しめないのだろうか。総合型クラブは「誰でも楽しめる」という点を提起し、チャンスを広げる試みだ。

体育嫌いの子ども増加

宮嶋　球技が苦手で、いわゆる「体育嫌い」になってしまう子が増えているとも聞く。

黒須　体育嫌いの要因は、昔に比べて三つの間、つまり「時間」「仲間」「空間」が失われたからだという指摘がある。それをカバーするにはもうひとつの間、「手間」が必要。トータルスポーツとしてさまざまな体の使い方を経験し、そこから好きなスポーツ、適したスポーツに出会えるよう間口を広げることも総合型クラブの役割だ。

宮嶋　持田さんに新たな構想があるそうだが。

持田　学校の校庭の芝生化を検討している。先日、すでに実施している安来市立社日小学校を見学したが、きれいな芝生の上で子どもたちが遊ぶ姿を見てあらためて実現したいと思った。

黒須　出雲市立大社小学校・幼稚園が全面芝生化している。転んでも痛くないから、子どもたちは思いっきり走る。男子と女子、あるいは異なる年齢が一緒に遊ぶようになるなど、以前に比べ明らかな変化が見られるという。校庭の芝生化は子どもの運動意欲や運動能力を引き出すとされ、癒やしやけが防止など心身の健康面に有効だ。

石丸　去年、イギリス・ラグビー地方へ行ったが、土のグラウンドはまったくなく、全て芝生だった。東京の小学校にはコンクリートの校庭さえある。

黒須　東京でも石原都知事が全学校の校庭の芝生化を提唱している。国や日本サッカー協会の取り組みもあり、学校を拠点にした総合型クラブの魅力アップにつながる。

島根の自然を活用

宮嶋　芝の手入れを通じて、より地域に密着した活動となる効果も見逃せない。失われた空間、仲間も取り戻せそうだ。島根では素晴らしい自然も活用できたらいい。

持田　「あそび塾」でカヌーや親子ゴズ釣り大会などを開催している。

黒須　農林水産、文部科学、総務の三省は、連携して全国の小学生に農山漁村で宿泊体験してもらう「子ども農山漁村交流プロジェクト（愛称・ふるさと子ども夢学校）」を実施している。主に高学年の児童が農山漁村での長期宿泊や農漁業を体験し、地域の活性化も目指す。

宮嶋　交流の受け皿としても力を発揮する可能性があるようだ。総合型クラブの予算面の課題はどうか。

黒須　行政や学校、企業とタイアップする形で、魅力的なサービスを創出していくことが大切。会費を基本としながらも、多様な財源の獲得というアンテナを張っておけば資金は確保できる。子ども農山漁村交流プロジェクトもその一例だ。

宮嶋　総合型クラブの今後について。

石丸　総合型クラブが定着すれば、将来のスポーツシーンは明るい。

持田　さまざまな団体と垣根を越え、横の連携を強化していきたい。

黒須　総合型クラブは、スポーツプラスアルファの社会的役割・責任を果たす公益的な存在。それぞれが体力をつけ、地域になくてはならない存在になってほしい。

石丸謙二郎氏

黒須　充氏

持田比佐子氏

宮嶋　泰子氏

基調講演

「あなたはターザンになれるか？」
俳優　石丸　謙二郎氏

「大きくなったら何になりたいですか？」。小学生の時、学校の先生がこんな質問をした。わたしの答えは「消防士さん」。しかし、本心は違った。気恥ずかしくて言えなかったが、本当は「ターザンになりたい」と言いたかった。

生まれ育った大分の田舎は緑に囲まれ、よく山で遊んだ。木のつるを見つけるとぶら下がり、ターザンの気分を味わったものだ。年月を経て四十代後半、ターザンになることができるテレビ番組に出会った。ロープにつかまり、川を飛び越え、がけをよじ登る、「サスケ」という番組だ。以来約十回、挑戦を続けている。「危ないからやめろ」と周囲は忠告するが、挑戦し続けたい。ターザンになりたいから。

新たな挑戦のきっかけに

わたしがウィンドサーフィンを始めたのは三十七歳の時。若者のスポーツのように思われるが、四十、五十代で始める人も大勢いる。

七十二歳のウインドサーフィン仲間がいる。彼は五十代で始めた。私が主催する四十歳以上対象のウインドサーフィン大会で、参加約八十人中、最高齢の彼が優勝したことがある。「なぜそんなに頑張れるの」と尋ねると、「だって面白いから。頑張ってなんかない」。「なぜ五十歳を過ぎて始めたのか」との問いには、「今七十二歳の私から見れば、五十代はまだまだ若い。何でもできるよ」

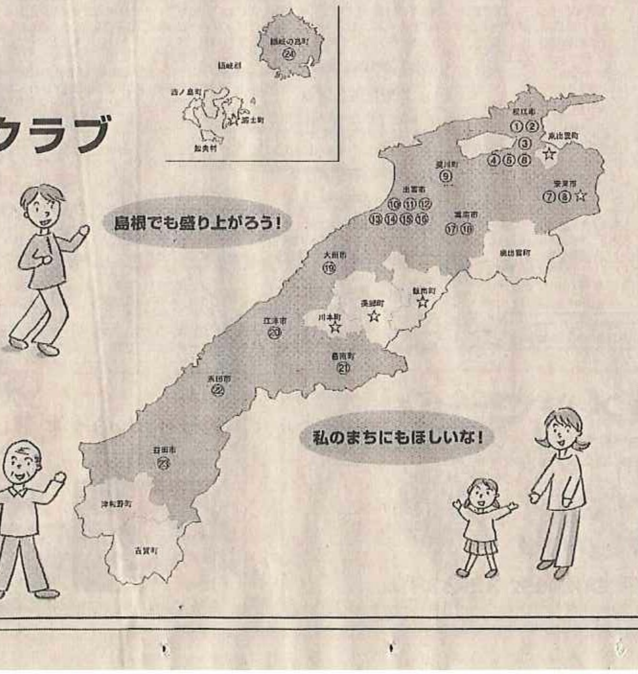
その言葉にハッとした。「いい年してみっともない」「年寄りは年寄りらしく」。よく聞く言葉だが、彼を見ているといくつになっても遅いということはない、と気付かされる。今の自分を頂点として考えると先には進めない。でも、二十年後の自分が隣に居ると想像してみてほしい。「おまえ元気だぞ。何でもチャレンジできるぞ」と激励してくれているように思えないだろうか。

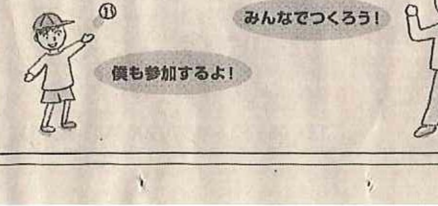
私にとってのターザンを、みなさんの「何か」に置き換えてみてほしい。将来に備えて貯金をする。同様に二十年後の自分を考え、体に貯金をしてみようではないか。二十年後のために体力を蓄えている、そう思えば張り合いもある。「あの時やっておけばよかった」と後悔したくはない。総合型地域スポーツクラブがみなさんの新たな挑戦、スポーツとの出会いのきっかけになればと思う。

文部科学省委託事業
総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

島根でも続々誕生！
総合型地域スポーツクラブ

スポーツは人々の心や身体の健全な発達を促し、
生命力や活力を与えてくれるとともに、
健康で豊かなライフスタイルを構築し、
夢や生きがいのある社会の形成に重要な役割を担っています。
「いつでも・どこでも・誰でも・いつまでも」を合言葉に、
今、総合型地域スポーツクラブづくりが
島根県の各市町村で取り組まれています。
総合型地域スポーツクラブは、地域の子どもからお年寄りまで、
より多くの人がスポーツ活動に参加し、健康づくりや青少年の健全育成、
そしてコミュニティづくりを目指す活動です。
住民一人ひとりが主役である「総合型地域スポーツクラブ」を
皆さんの手でつくり、参加してみませんか？





島根県総合型クラブ取り組み状況（平成20年10月現在）

市町村名	クラブ名
松江市	①NPO法人 しんじ湖スポーツクラブ
	②竹矢スポーツクラブ
	③美保関クラブ
	④おおの輪・和・ワークラブ
	⑤城北総合スポーツクラブ
	⑥鹿島町総合型スポーツクラブ（設立準備中）
安来市	⑦NPO法人 さくら総合スポーツクラブ
	⑧島田総合スポーツクラブ
斐川町	⑨斐川町総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
出雲市	⑩はまやまスポーツクラブ
	⑪いずもスポーツクラブ21
	⑫出雲ファーストクラブ
	⑬センタースポーツクラブ
	⑭出雲南スポーツクラブ
	⑮スポーツクラブおろち
	⑯リバーサイドスポーツクラブ
雲南市	⑰Yu-Gaku加茂スポーツクラブ
	⑱大東町総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
太田市	⑲銀ギンginスポーツクラブ
江津市	⑳GOTSUスポーツクラブ（設立準備中）
邑南町	㉑iクラブ
浜田市	㉒周布総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
益田市	㉓ポアソルテ美都スポーツクラブ（設立準備中）
隠岐の島町	㉔隠岐の国総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
安来市（広瀬地区）	特別支援団体（設立準備検討中）
東出雲町	特別支援団体（設立準備検討中）
飯南町	特別支援団体（設立準備検討中）
美郷町	特別支援団体（設立準備検討中）
川本町	特別支援団体（設立準備検討中）
海士町	特別支援団体（設立準備検討中）

SCステーション　クラブづくりの意義やサポート体制、全国で展開されているクラブなどの情報が紹介されています。
http://www.japan-sports.or.jp/local/

●お問い合わせ先
(財)島根県体育協会 生涯スポーツ課…………TEL 0852-60-5053
(財)日本体育協会 クラブ育成課……………TEL 03-3481-2278